

JB Customer Report

カスタマーレポート



岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画支援課

須田病院 様

飛騨地域唯一の入院精神科専門病院として、地域のニーズに応えてきた須田病院の事務長 中田様に、リソグラフ(孔版印刷機)の入替で導入したORPHIS X7250(高速プリンター)の使用法や感想についてお話を伺いました。



①ORPHIS X7250を試用→導入して分かった事

導入して7年目に突入しました。最初は『カラー印刷の用途は無いので導入する必要なんて無い』『カラーは印刷コストが高く贅沢なもの』カラー印刷に対してそんな気持ちを持っていましたが、ORPHISを1ヶ月程使用させて頂き、勤務表や院内研修会資料を実際に印刷した時、色の持つ力や人を引きつける効果を感じる事ができ、改めて可視性・伝達性がモノクロ印刷よりも高くなると気付かされました。「カラー印刷の用途は無い」という思考は、カラー印刷を否定する為の理由だったかも知れませんね。

又、「カラー印刷が@1.56円で印刷できる」、そんな事はありませんかと思いましたが、1ヶ月の試用期間で算出されたカラー印刷は、なんと約@2円。現在のモノクロ印刷より安く印刷ができる事が実証された為、導入を決定しました。

「カラー印刷は必要」「カラー印刷は安い」と、気づいたら意識改革させられて、『導入して良かった!』という思いで一杯です。



コンパクトサイズの冊子にしたり、長期掲示物はカラー印刷&ラミネートをする事で、見やすく、長持ち!

②印刷に一工夫で、利用者に優しく・便利に

当院の施設パンフレットは、A4用紙に2面付け+両面で印刷をし、その後、手作業で二つ折りにしてA5サイズで仕上げるといった流れで印刷をしています。A5サイズだとバックに入れて持ち帰ってもらうには丁度いいサイズなので、患者さんやご家族、付き添いの方に好評です。

持ち帰り易いように一手間・一工夫する印刷も、ORPHISの「面付け機能」があるお陰で効率よく効果的に印刷する事ができています。今後、印刷枚数が増えれば紙折り機も必要になってくるかも知れませんね。

又、入院患者さんの治療法の一つである「作業療法」の塗り絵や計算練習、カレンダー作りなどで使用する素材もORPHISで印刷していますが、インクジェットの優しい色味が患者さんに好評です。

③膨大な印刷も怖くない!?

年末にパソコンで管理した患者データ(病名、状況など)を一斉出力し、その出力したデータをカルテに挟みこんで最新の情報に更新していきます。全ての患者データを出力する為、導入前は印刷にかなりの時間を費やしていましたが、ORPHISは1分間で120枚印刷する為、印刷作業に労力を集中する必要がなくなりました。この作業で一番重要なのは、印刷作業ではなく、「挟み込み作業」です。大切な患者さんのデータを挟み間違えては大変なことになる為、細心の注意が必要ですが、印刷作業の負荷が軽減できた為、より一層確実な「挟み込み作業」が出来るようになりました。

定期的に訪問してくれるジムブレーションさんには印刷に関する質問や相談がしやすい為、これからもORPHISを上手に活用し、患者さんをはじめとした利用者の方々にも見やすく使いやすい印刷作成を心掛けてしていきたいですね。

営業担当者の声

色の持つ力や効果を共感して頂くと共に、ORPHISの機能を活用して「一手間・一工夫」の印刷をされるとお聞きし大変嬉しく思っております。

今後もお客様の課題解決の為に、そして、お客様の笑顔の為に、価値を提案して参ります。



営業担当：小瀬 慎二